

本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成21年3月期 第1四半期決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

当四半期より、売上原価および販管費の一部の科目を差し引いた売上高のネット表示(純額表示)を行っています。ただし、従来の表示方法による参考値も「グロス表示」と明記の上、掲載している場合があります。過去の数字との比較に際してはご注意ください。

**【ネット表示に伴い、売上高・売上原価・販管費から控除される項目】**

ディスプレイ広告における代理店手数料

ディスプレイ広告のアドネットワークにおけるパートナーサイトへのTAC (Traffic Acquisition Cost)

検索連動広告におけるパートナーサイトへのTAC(オーバーチュア(株))

決済関連事業における支払手数料((株)ネットラスト)

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。



## 2008年度第1四半期 ハイライト

- 2008年度第1四半期の売上高は655億円(\*)、営業利益は328億円(前年同四半期比10.9%増)、経常利益は324億円(前年同四半期比13.6%増)、四半期純利益は191億円(前年同四半期比18.2%増)となった。

(\*) 2008年度第1四半期より、従来、売上原価に計上していた当社のパートナーである他のサイト運営会社に支払うTAC(Traffic Acquisition Cost)や販売費及び一般管理費に計上していた販売代理店等に支払う手数料について売上高から控除する方法(純額表示、ネット表示)に変更しました。なお、2008年度第1四半期の売上高を従来どおりの方法(グロス表示)で算出した場合は725億円となります。

売上高を純額表示(ネット表示)した場合および従来どおりの方法(グロス表示)で算出した場合は、それぞれ下表のとおりとなります。

	ネット表示による売上高	前年同四半期比	グロス表示による売上高	前年同四半期比
広告事業	336億円	37.4%増	393億円	60.6%増
ビジネスサービス事業	140億円	0.5%減	143億円	1.9%増
パーソナルサービス事業	178億円	1.2%減	188億円	3.9%増
合計	655億円	15.6%増	725億円	27.9%増



## 2008年度第1四半期 ハイライト

- 広告事業においては、利用者の行動履歴を基にした配信を行う行動ターゲティング広告が前年同四半期比で大幅に売上を拡大したほか、主力商品である「プライムディスプレイ」についても売上が伸びた。検索連動広告は、オーバーチュア(株)の連結子会社化に加えて、オープン化の一環である当グループ以外の媒体での採用も増加し、前年同四半期比で売上が大きく伸びた。モバイル広告においても検索連動広告の伸びにより好調に推移した。
- ビジネスサービス事業では、「Yahoo!不動産」の売上が掲載件数の拡大により前年同四半期比で好調に推移したものの、景気全般の減速感に伴う企業の人材採用意欲の低下などにより「Yahoo!リクナビ」の売上が減少した。「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!オークション」においては、引き続き新規ストアの獲得に努めた結果、2008年6月末のストア数は合計で32,061店舗と前年同月末と比べて3,693店舗(13.0%増)増加し、テナント料および手数料収入も順調に推移したほか、特にモバイル経由のコマース取扱高が大きく増加した。



## 2008年度第1四半期 ハイライト

- パーソナルサービス事業では、「Yahoo!オークション」において、出品数の増大に向けたさまざまな施策を実施し、モバイルからの利用も拡大したが、システム利用料収入は微減となった。「Yahoo!プレミアム」においては、会員の付加価値向上に努めた結果、Yahoo!プレミアム会員ID数が初めて700万IDを突破した。また、新たな取り組みとしてインターネット以外のサービスも含めた外部パートナーとの会員特典の連携を新たに開始した。有料コンテンツの売上は「Yahoo!パートナー」、「Yahoo!コミック」を中心に大きく伸びた。
- 従来のコンテンツ連動広告に比べて優れた性能を持つ「インタレストマッチ™」を2008年秋より本格的に展開する。
- 地球環境保護活動の一環として、カーボンニュートラルへの取り組みを開始するとともに、「Yahoo! JAPAN」利用者向けに「Yahoo!カーボンオフセット」の提供を開始した。

# 2008年度第1四半期決算 (連結ベース)

## 当四半期末の連結子会社

(株)インディバル  
トライクル(株)  
(株)ネットラスト  
ヤフーバリューインサイト(株)  
ワイズ・エージェンシー (株)

オーバーチュア(株)  
(株)ニューズウォッチ  
ファーストサーバ(株)  
ワイズ・インシュアランス(株)  
ワイズ・スポーツ(株)

## 当四半期末の主な持分法適用会社

(株)オールアバウト  
(株)クラシファイド  
JWord(株)  
(株)たびゲーター  
TVバンク(株)  
(株)ファッションウォーカー  
(株)ベストリザーブ

オリコンDD(株)  
(株)クレオ  
セブンアンドワイ(株)  
(株)テレウェイヴ  
バリューコマース(株)  
フォートラベル(株)  
夢の街創造委員会(株)



# 2008年度第1四半期損益計算書

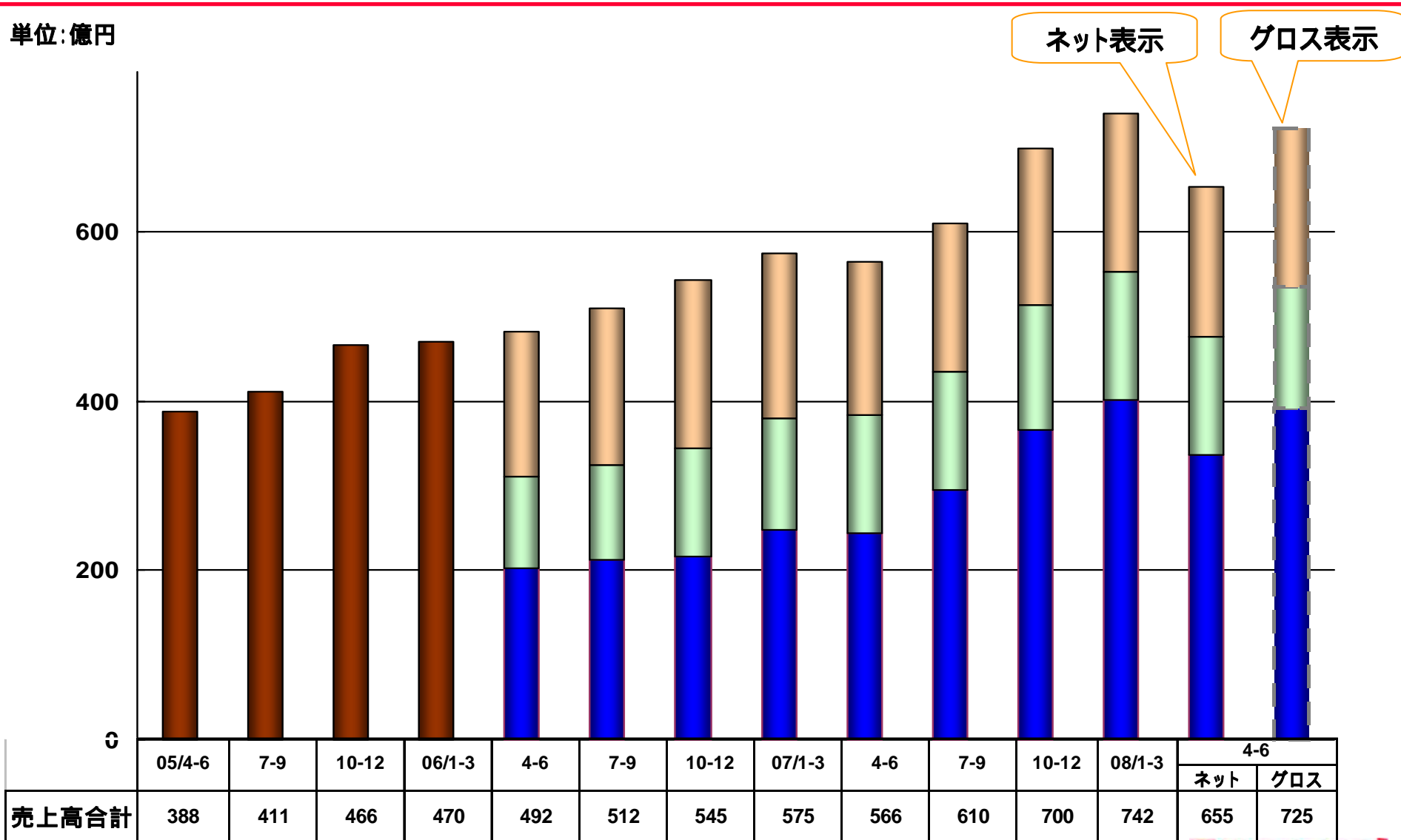
	2008年4-6月 (ネット表示)	2008年4-6月 (グロス表示)	2007年4-6月 (グロス表示)	増減率 (グロス表示比較)
売上高 (億円)	655	725	566	28 %
売上原価 (億円)	69	107	24	346 %
売上総利益 (億円)	586	617	542	14 %
営業利益 (億円)	328	328	296	11 %
経常利益 (億円)	324	324	285	14 %
四半期純利益 (億円)	191	191	162	18 %
EPS (円)	317.50	317.50	267.95	18 %
発行済株式数 (期中平均) (万株)	6,034	6,034	6,047	-0 %
完全希薄化後 EPS (円)	317.09	317.09	267.57	19 %
完全希薄化後株式数 (万株)	6,042	6,042	6,056	-0 %

2008年4-6月におけるグロス表示は参考値です  
発行済株式数、完全希薄化後株式数は自己株式を除いています



# 四半期売上高推移

単位: 億円

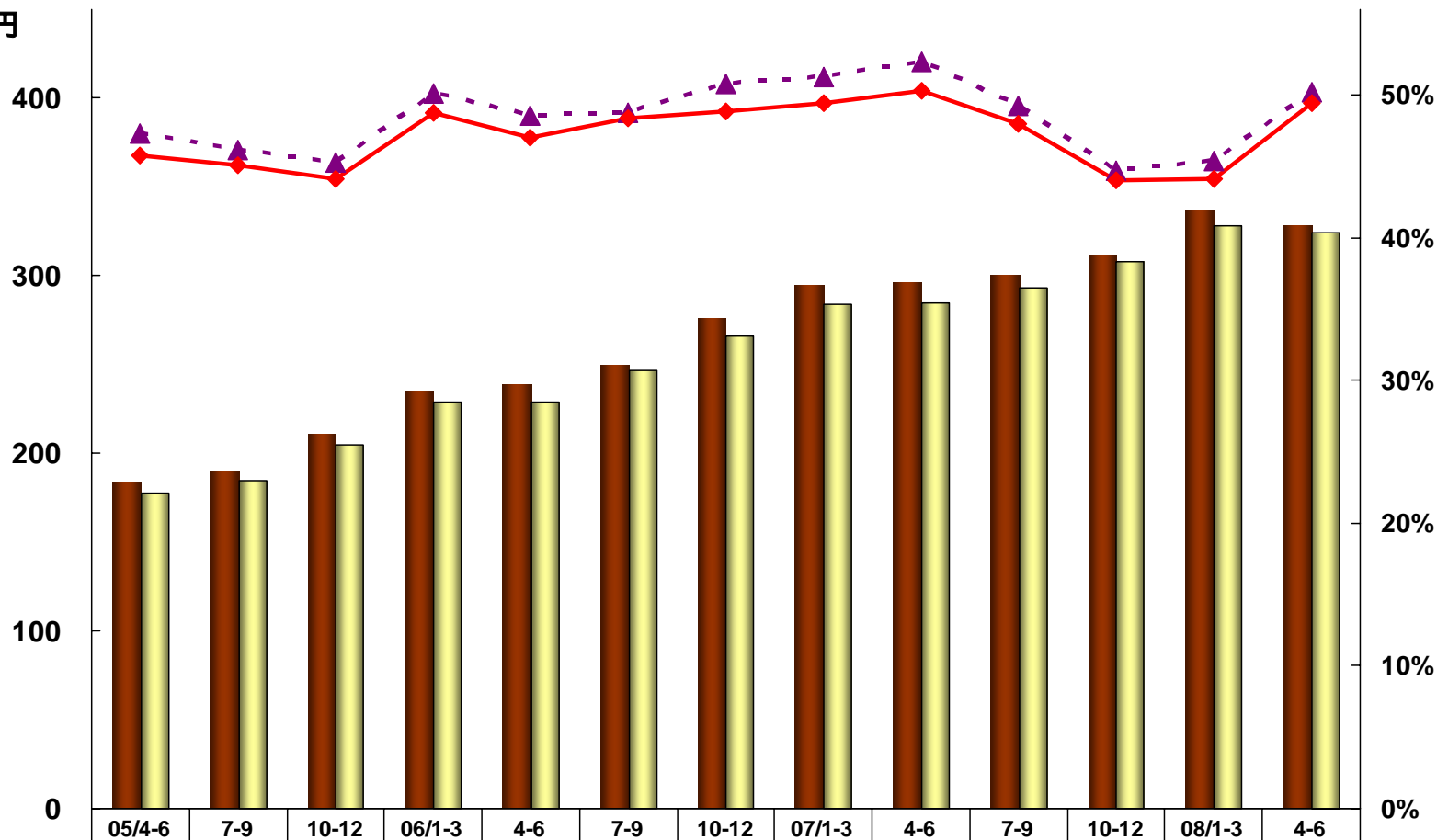


\*2008年4-6月におけるグロス表示は参考値です



# 四半期利益推移

単位: 億円



営業利益	184	190	211	235	239	250	276	295	296	300	312	337	328
経常利益	178	185	205	229	229	247	266	284	285	293	308	328	324
- ▲ - 売上高営業利益率	47%	46%	45%	50%	49%	49%	51%	51%	52%	49%	45%	45%	50%
- ◆ - 売上高経常利益率	46%	45%	44%	49%	47%	48%	49%	49%	50%	48%	44%	44%	49%

08/4-6の各利益率は売上高をネット表示に変更したことによる影響を受けています





# 2008年度第1四半期収益内訳

単位: 億円

	売上高 (ネット)	主な内訳(事業部別)		売上総利益	販管費	営業利益	営業利益率
広告事業	336	検索事業部 64% およびオーバーチュア(株) 11% メディア事業部 9% サービス統括部 3% ソーシャルネット事業部 3% オークション事業部		287	109	177	52.8%
ビジネスサービス 事業	140	事業推進本部 24% オークション事業部 17% ライフスタイル事業部 16% 地域サービス事業部 15% ショッピング事業部 14%		122	66	55	39.7%
パーソナルサービス 事業	178	オークション事業部 46% 会員サービス事業部 45% 事業推進本部 4%		177	49	127	71.5%

「Yahoo!リクナビ」を地域サービス事業部からライフスタイル事業部に移管したことにより、  
ビジネスサービス事業の事業部別内訳が従来に比べ大きく変わっています





# 販管費構成推移

単位: 億円

	08/1Q (ネット)	構成比	07/4Q (グロス)	前四半期比 増減率	07/1Q (グロス)	前年同期比 増減率
人件費	61	23.9%	62	-1.5%	50	21.2%
業務委託費	42	16.7%	41	3.0%	37	14.7%
減価償却費	23	9.2%	28	-15.8%	20	14.7%
通信費	22	8.6%	21	1.4%	20	7.4%
ロイヤルティ	19	7.6%	21	-9.7%	16	21.6%
賃借料・水道光熱費	17	6.8%	18	-4.9%	9	91.1%
販売促進費	14	5.6%	12	12.4%	10	36.8%
情報提供料	13	5.2%	13	-0.1%	12	7.6%
販売手数料	10	4.0%	30	-66.7%	26	-61.6%
維持管理費	5	2.2%	5	10.0%	6	-7.8%
広告宣伝費	3	1.2%	3	-8.1%	2	25.1%
租税公課	2	1.1%	3	-10.6%	2	12.7%
支払手数料	2	0.8%	14	-85.0%	11	-80.4%
のれん償却額	2	0.8%	3	-44.2%	3	-46.1%
貸倒引当金繰入額	1	0.7%	3	-44.5%	5	-65.1%
その他	14	5.5%	9	48.5%	10	35.4%
販売費及び一般管理費	257	100.0%	293	-12.5%	246	4.5%

## 主な前年同期比増減要因

人員の増加 (2008年6月末の役職員数は4,164人。前年同期末比で745人増加)

派遣・常駐社員費用、パーソナルサービス売上に関する決済業務に伴う費用等

サーバー・ソフトウェアの取得等

オフィスの移転に伴う一時的な減少が07/1Qに発生

ポイント費用や検索連動広告にかかわる費用の増加

代理店手数料をネット表示に変更

ネットラスト(株)の支払手数料をネット表示に変更

個人向け債権の回収率改善



# 2008年度第1四半期貸借対照表

主な科目	2008年6月末	2007年6月末	増減	主な増減要因	単位: 億円
<b>&lt; 資産の部 &gt;</b>					
流動資産	1,148	934	214		
現金及び預金	666	553	113	自己株式取得による支払い(333億円)	
受取手形・売掛金	341	283	58		
固定資産	2,036	2,059	-23	広告事業の売上の増加	
有形固定資産	163	162	1		
無形固定資産	146	145	0		
投資有価証券	1,616	1,658	-41	バリューコマース(株)株式の減損	
<b>資産の部合計</b>	<b>3,185</b>	<b>2,994</b>	<b>190</b>		
<b>&lt; 負債の部 &gt;</b>					
流動負債	738	567	170		
短期借入金	200	201	-1		
未払金	169	108	60	自己株式取得に伴う未払金の計上	
未払法人税等	123	114	8		
固定負債	200	400	-199	借入金の返済	
<b>負債の部合計</b>	<b>938</b>	<b>967</b>	<b>-29</b>		
<b>&lt; 純資産の部 &gt;</b>					
株主資本	2,211	1,997	213		
資本金	73	72	1		
資本剰余金	24	22	1		
利益剰余金	2,494	1,902	591	利益の増加	
自己株式	-381	-0	-381	自己株式の取得	
評価・換算差額等	8	10	-2		
少数株主持分	25	17	7		
<b>純資産の部合計</b>	<b>2,246</b>	<b>2,026</b>	<b>219</b>		
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,185</b>	<b>2,994</b>	<b>190</b>		



# 2008年度第1四半期キャッシュ・フロー

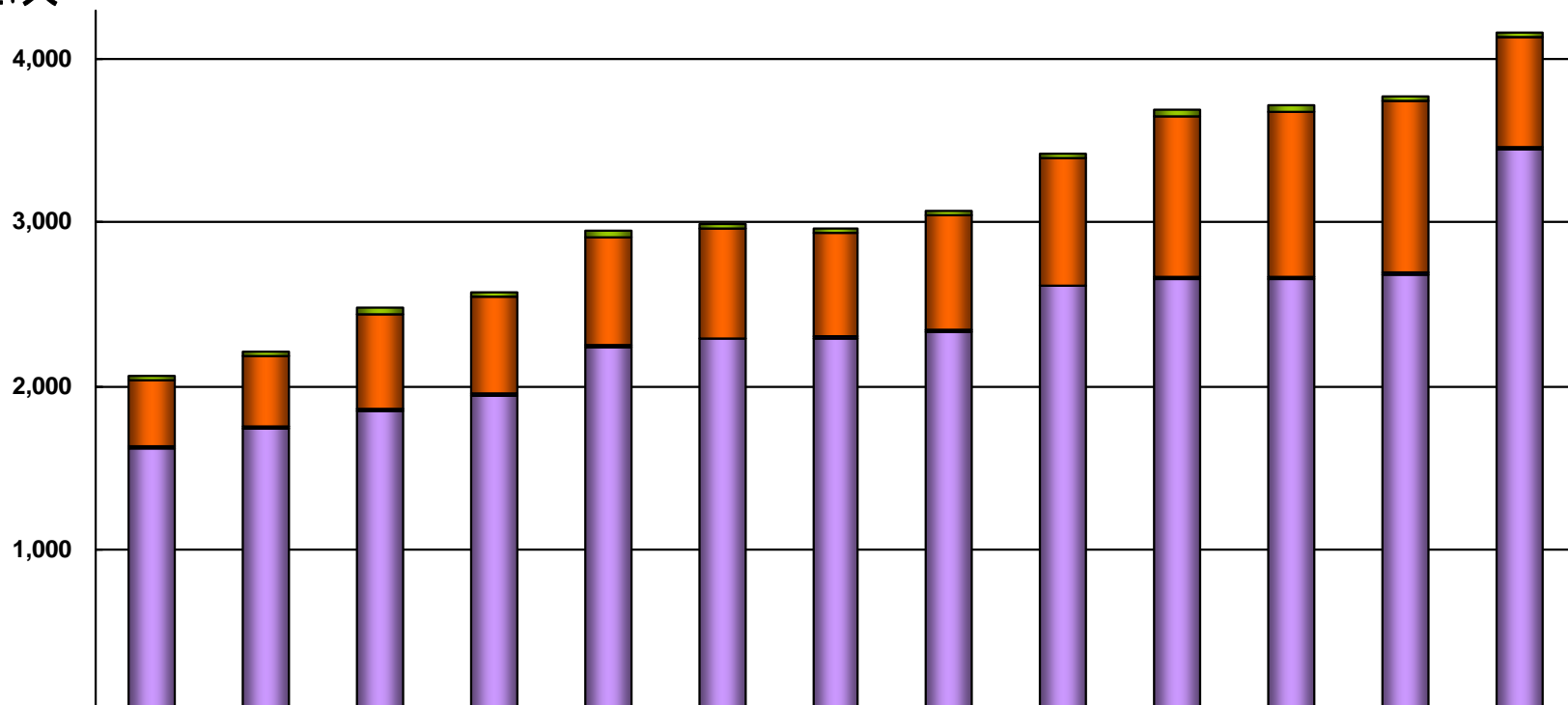
主な項目	2008年4-6月	主な増減要因	単位: 億円
<u>営業活動によるキャッシュ・フロー</u>	<u>54</u>		
税金等調整前四半期純利益	331	税引前四半期純利益の増加	
減価償却費	25		
売上債権・仕入債務の減少	10		
法人税の支払	-290		
<u>投資活動によるキャッシュ・フロー</u>	<u>-18</u>		
有形固定資産の取得	-23	サーバー・ソフトウェアの取得等	
無形固定資産の取得	-8		
投資有価証券の取得・売却	9		
<u>財務活動によるキャッシュ・フロー</u>	<u>-498</u>		
長期借入金の返済	-100		
自己株式の取得	-333		
配当金の支払	-63		
<u>キャッシュ・フロー増減額</u>	<u>-463</u>		



# 役職員数推移

単位:人

(四半期末人員数)



上記の子会社役員・従業員数はYahoo! JAPANとの兼任および出向者を含んでいません





## 2008年度第1四半期レビュー

予想以上に景気停滞感が強く、ディスプレイ広告・検索連動広告・求人情報掲載を中心に、2008年度第1四半期の売上高は伸び悩んだ  
売上変動費が見通しを下回ったことに加え、通信費・子会社費用等を抑制。また、個人向け債権の回収率改善により貸倒引当金繰入額を減少させる等、販管費の増加の抑制に努めた

単位: 億円

(連結ベース)	ネット表示	
	実績	四半期見通し (2008年4月25日時点)
売上高	655	653 ~ 683
営業利益	328	315 ~ 338
経常利益	324	310.5 ~ 333.5
四半期純利益	191	180 ~ 194



## 2008年度第2四半期見通し

厳しい事業環境は当面続く見込み。苦戦が予想されるディスプレイ広告や求人関連事業を検索連動広告やプレミアム会員数の伸びによりカバーするよう努める。2008年度第2四半期の売上高は対前四半期比ほぼ横ばいで予想。販管費は10億円程度増加の見込み

**\*ネット表示による比較を行っています**

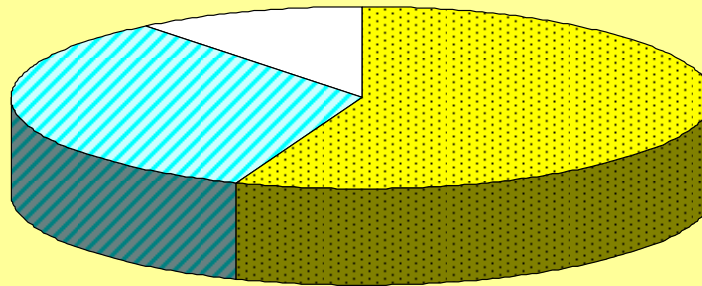
単位: 億円

	07/2Q (実績) グロス表示	08/2Q (見通し) グロス表示	08/1Q (実績) ネット表示	08/2Q (見通し) ネット表示
売上高	610	723 ~ 759	655	653 ~ 686
営業利益	300	319 ~ 338	328	319 ~ 338
経常利益	293	315.5 ~ 334.5	324	315.5 ~ 334.5
四半期純利益	130	184 ~ 195.5	191	184 ~ 195.5

- 当グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する可能性があり、通期の業績見通しについて信頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えています。従いまして、当グループは四半期ごとに業績発表を行い、併せて次四半期の業績見通しのみを公表することとしています
- 08/2Qにおけるグロス表示は参考値です

## 日本におけるウェブ検索クエリの市場シェア

Yahoo! JAPANがNo.1



■ Yahoo! JAPAN    ■ Google    ■ その他検索サイト

出典: 株式会社ビデオリサーチインタラクティブ Web Reportデータをもとに作成 自宅からのアクセス 2008年5月  
分析対象サイト: Yahoo!/Google/MSN/goo/Biglobe/ocn/nifty/excite/infoseek/au one/so-net/livedoor/askjeeves/odn/fresheye/  
aol/hi-ho 計17サイト  
上記17サイトにおける検索結果ページのデータをもとに作成

## 検索連動広告収益化システムの市場シェア

**Yahoo! JAPAN: Google = 約3:1**

(コンテンツ連動広告除く/当社推定)



# Y! 「インタレストマッチ™」の提供

## 日本におけるコンテンツ連動広告市場

- 現状では未成熟。将来的に、検索連動広告と同程度の市場規模に成長することが期待される

## 従来のコンテンツ連動広告に比べ優れた性能を持つ 「インタレストマッチ™」の提供を開始予定

### < 特長 >

- 利用者の閲覧履歴や検索履歴を解析し、最適な広告を配信
- デモグラフィック(性別・年齢等)やエリア・時間を組み合わせたターゲティングによる配信も可能

\* 2008年秋から本格的に展開予定。オーバーチュア(株)の顧客網・営業ノウハウを活用した拡販を目指す



# 「Spot & Search」の試験的提供

## 新たな広告商品「Spot & Search」のテスト配信を開始

(現段階では一定の条件下の限定的な提供)

### 「Spot & Search」の特長

- テレビCMで流れたキーワードが「Yahoo! JAPAN」上で検索された際に、商品の動画広告等を配信。2つのメディアを利用することにより、より高い広告効果を目指す

### テレビCM画面



### 「Yahoo! JAPAN」検索結果



日本ヒューレット・パカード(株)の例



# Y! インターネット広告の効果測定

## 2008年4月発表の調査

- (株) ビデオリサーチインタラクティブ、エヌ・ティ・ティ レゾナント(株)、マイクロソフト(株)と共同でブランディング広告の効果測定を実施  
(調査期間:2007年3月～12月)

## 調査結果抜粋

- インターネット広告ブランディング効果の法則  
広告を見た人の29.1%が広告を認知  
広告を認知した人のうち、30.4%が商品購入/利用を喚起される
- インターネット広告フリークエンシーの法則  
広告接触回数12回に向けて、広告・商品認知/商品好意度が上昇  
13回以降も、広告メッセージ理解/商品購入利用意向等が上昇
- インターネット広告インプレッションの法則  
1,000万回広告を配信した時に広告を認知する人の数は130万人  
商品に興味/関心を示す人の数は57万人  
商品を購入/利用したくなる人の数は38万人



# Everywhere化への取り組み

## 携帯電話・テレビなどへのサービスを更に拡大



シャープ AQUOS向け  
サービスの提供を開始



ソフトバンク向け  
「Yahoo!ケータイ」  
トップページのリニューアル



iPhone向けサービスの  
提供を開始



# ヤahoo! カーボンニュートラルへの取り組み

地球環境保護活動の一環として  
カーボンニュートラルへの取り組みを開始

## 自社消費分のオフセット

- 2007年度に使用した電力を対象に、2008年度中にグリーン電力証書の取得と、CO2排出枠の購入を行う(約2億円を予定)。2009年度以降も継続の予定

## 「Yahoo! JAPAN」利用者向けサービス

### 「Yahoo!カーボンオフセット」の提供

- 「Yahoo!ポイント」や「Yahoo!ウォレット」を通じてCO2排出枠を購入することにより、利用者自身が排出したCO2をオフセットできるサービス



# カスタマーサポート体制改善への取り組み

## カスタマーサポート専門の子会社を設立

- 従来のカスタマーサポート業務委託体制を見直し、業務委託体制のリスク分散と費用対効果の高い運用体制を構築する
- 地方自治体の協力のもと、高知県と大分県にサポートセンターを設立する予定

## 主な目的

- 子会社において運用体制を構築することにより、より質の高いカスタマーサポートを提供
- 費用を抑制しつつ、より高い効果を追求
- 地方における雇用機会の創出